

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成25年11月4日（月）～11月10日（日）〔平成25年第45週〕の感染症発生状況

第45週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) RSウイルス感染症・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・突発性発疹 でした。

感染性胃腸炎は定点当たり5.00人と前週（6.24）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。

手足口病は定点当たり0.85人と前週（1.82）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

訂正 第44週本紙中 誤：平成25年10月28日（月）～11月6日（日）〔平成25年第44週〕 → 正：平成25年10月28日（月）～11月3日（日）〔平成25年第44週〕



胃腸炎対策を徹底しましょう！！

今年の胃腸炎流行の特徴は・・・？

例年、腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどを原因とする食中毒は夏場を過ぎると減少してきますが、今年はいまだに腸管出血性大腸菌感染症が発生している状況です。

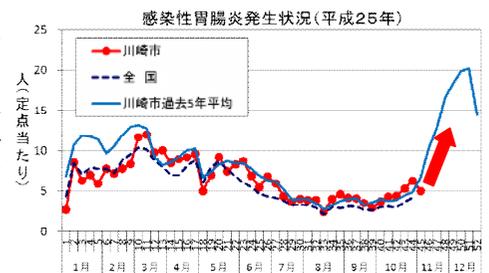
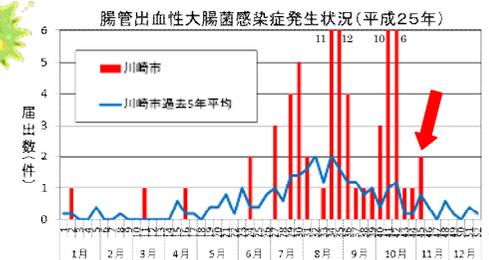
一方、ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎の患者数は、例年11月頃から急激に増加します。

これから増える感染性胃腸炎だけでなく、まだ発生している腸管出血性大腸菌などにも注意して、胃腸炎の対策を徹底しましょう。

こんなことに注意して！

～ノロウイルス対策を中心に～

こまめな手洗いや食品等の加熱（85～90℃で90秒間以上）が基本です。また、患者の便やおう吐物は乾燥しないうちに早めにペーパータオル等で静かに拭き取り、拭き取った後は、家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム：約0.02%）で浸すように拭き、その後水拭きをしましょう。



感染性胃腸炎の流行状況だけでなく、腸管出血性大腸菌感染症の発生状況にも注意が必要です。

